

令和2年度(2020年度) 特別支援教育総合推進事業 第1回留萌教育局管内特別支援連携協議会・専門家チーム会議の概要

新型コロナウイルス感染症の予防により、当初開催を予定していた本協議会が書面開催となったことから、令和2年度(2020年度)の留萌管内の特別支援教育の重点に係る昨年度の具体的な取組及び今年度の重点の実現に向けて、名寄市立大学の矢口准教授からの指導助言を踏まえ、今年度の管内の取組の具体的な方向性について共通理解を図ります。

報
告

【特別教育支援課における令和2年度(2020年度)の重点的取組】

- 1 市町村における教育と福祉が連携した取組
- 2 校内研修等による校内体制の充実に資する取組
- 3 「個別の教育支援計画」の作成・活用の一層の推進

【留萌管内の特別支援教育に係る課題】

- 1 支援関係者及び保護者の専門性の向上
- 2 専門性の高い人材を活用した校内研修の実施
- 3 「個別の教育支援計画」の活用よさを実感することができる研修内容の工夫

【令和2年度(2020年度)留萌管内特別支援教育の重点】

- 重点① 一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育の推進
 重点② 「個別の教育支援計画」等の活用による早期からの切れ目のない一貫した指導や支援の充実

【昨年度の各関係機関における取組と今年度の重点との関わりについて】

重点①について

- ・臨床心理士やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどの専門家との連携
- ・ケース会議の定期的な開催による実態把握
- ・生徒の実態に合わせたテーマを設定した研修の実施
- ・児童の障がいの特性に応じた指導や支援の在り方に係る専門家チーム委員や小平高等養護学校の職員を講師とした研修の実施
- ・市町村幼児療育推進協議会が主催する研修会への参加

重点②について

- ・地域教育協議会特別支援教育専門部会支援検討会の開催による保健福祉部局や学校等との連携促進
- ・学期ごとに「個別の教育支援計画」を生徒の実態に合わせて見直し、保護者との個別懇談の際に確認・修正するとともに、修正内容の全教職員での情報共有
- ・進級時に保護者と「個別の教育支援計画」の長期目標を確認・修正
- ・管内に「推進地域」を指定し、発達障がいのある幼児児童生徒やその家族を支援する体制整備モデルを構築

情
報
提
供

◆ 矢口委員（名寄市立大学准教授）からの指導助言 ◆

<重点①に関わって>

- ・専門的な識見を有する専門家を含めた各関係機関（保健、医療、福祉、教育など）との連携を充実させること。
- ・地域の資源を効果的に活用すること。

<重点②に関わって>

- ・特別支援教育コーディネーターや特別支援教育専門家チームなど、特別支援教育に係る専門家を校内研修等に積極的・効果的に活用すること。

取
組
に
係
る
指
導
助
言

重点①のまとめ

重点②のまとめ

◆ 事務局から ◆

<専門性の向上に向けた具体的な取組>

一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実に向けた全ての教職員の専門性の向上に向けて取り組む必要がある。

- 具
体
策
の
例
- ・通常学級における効果的な指導の手立てや「個別の教育支援計画」等に関する保護者への効果的な説明の仕方など、演習等とおした校内研修の充実
 - ・校内における関係機関との連携を図った支援体制づくりの一層の充実

<「個別の教育支援計画」等の活用に向けた具体的な取組>

「個別の教育支援計画」を活用した関係機関との連携を図った早期からの切れ目のない一貫した相談体制・支援体制の充実に向けて取り組む必要がある。

- 具
体
策
の
例
- ・幼児児童生徒への支援等による変化の様子について、「個別の教育支援計画」等を活用し、時系列で記録化及び引継ぎで効果的に活用
 - ・保護者及び教育、医療、福祉関係者との支援の成果についての定期的な共有の場の設定

取
組
の
方
向
性